

平成21年6月23日

## 「定住自立圏」全国市町村長サミット2009in島根の開催

総務省は平成21年10月14日（水）、15日（木）に「『定住自立圏』全国市町村長サミット2009in島根」を開催します。

### 1 開催趣旨

分権型社会にふさわしい安定した社会空間を地方圏に創り出すための「定住自立圏」の推進に取り組む市町村長が一堂に会し、それぞれの圏域で取り組む特色ある事例の発表、圏域の形成にあたって直面した課題の検討などを行い、相互に議論を深めるとともに、普及広報を行うことにより、「定住自立圏」の形成に向けた取組を促すことを目的として「定住自立圏」全国市町村長サミット2009in島根を開催いたします。

### 2 日時及び開催場所

日時：平成21年10月14日（水）全体会・分科会・人材交流広場・交流会

15日（木）分科会・全体会総括

開催場所：くにびきメッセ（島根県松江市学園南一丁目2番1号）

### 3 主催者

総務省

定住自立圏全国市町村長サミット2009in島根実行委員会

### 4 次第

<1日目>

○ 全体会 13:00～14:30

総務省挨拶

開催地挨拶

来賓挨拶

基調講演 「地方発・日本再生への道～変革（チェンジ）への挑戦～」

増田 寛也（東京大学公共政策大学院客員教授・株式会社野村総合研究所顧問）

○ 分科会 14:50～16:50

4つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと出席される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

(1) 「医療分科会」梶井 英治（自治医科大学地域医療学センター長）

- (2) 「産業振興分科会」大西 達也

(株式会社日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ課長)

- (3) 「教育・人材・子育て分科会」田中 里沙 (宣伝会議編集室長)

- (4) 「地域づくり分科会」小田切 徳美 (明治大学農学部教授)

※「地域づくり分科会」は14日のみの開催となります。

- 人材交流広場 17:00~17:30

一般参加者、市町村長等による意見交換、情報交換の場として人材交流広場を設けます。

- 交流会 17:30~18:45

## <2日目>

- 分科会 9:00~11:10

1日目と同様、4つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと出席される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

- (1) 「医療分科会」梶井 英治 (自治医科大学地域医療学センター長)

- (2) 「産業振興分科会」大西 達也

(株式会社日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ課長)

- (3) 「教育・人材・子育て分科会」田中 里沙 (宣伝会議編集室長)

- (4) 「地域交通分科会」森地 茂 (政策研究大学院大学教授・運輸政策研究所所長)

※「地域交通分科会」は15日のみの開催となります。

- 全体会総括 11:30~12:30

2日間の意見交換を踏まえ、総括コーディネーターと分科会コーディネーターがパネルディスカッションを行います。

総括コーディネーター：辻 琢也 (一橋大学大学院法学研究科教授)

## 5 申込先

参加に当たっては、事前に申込みが必要です。別紙パンフレットの申込様式にて、平成21年7月31日(金)までに参加申込窓口(0852-23-7739)あてにFAXにてお申し込みください。また、いただいた個人情報、本サミットのご案内に必要な範囲で利用し、目的以外には利用しません。

※ 人材交流広場・交流会参加の場合、参加費は3000円です。

※ 定員に達した場合、締め切らせていただきますのでご了承ください。

※ 参加者には8月下旬に申込受付済書を発送します。

連絡先：地域力創造グループ 地域自立応援課  
担当：乾課長補佐、早川係長、前田事務官  
電話：03-5253-5392 (直通)  
FAX：03-5253-5537



宍道湖(松江市)

# 「定住自立圏」 全国市町村長サミット 2009 in 島根

縁えにしの糸が未来につなぐ

出雲大社の大しめ縄

島根県

鳥取県



## 地域力

平成21年

日時

10/14水・15木

会場

くにびきメッセ  
島根県立産業交流会館

中海

江島大橋

島根県松江市(上側)と鳥取県境港市(下側)を結ぶ中海に架かる橋。中海圏内の物流・観光を担う重要なルートとなっています。

主催：総務省 定住自立圏全国市町村長サミット2009in島根実行委員会

実行委員会事務局：島根県地域振興都市町村課内 TEL.0852-22-5589 FAX.0852-22-5200

# 「定住自立圏」全国市町村長サミット 2009 in 島根

分権型社会にふさわしい安定した社会空間を地方圏に創り出すための「定住自立圏」の推進に取り組む市町村長が一堂に会し、それぞれの圏域で取り組む特色ある事例の発表、圏域の形成にあたって直面した課題の検討などを行い、相互に議論を深めるとともに、普及広報を行うことにより、「定住自立圏」の形成に向けた取組を促すことを目的として「定住自立圏」全国市町村長サミット2009 in 島根を開催いたします。

開催にあたり、ご発言いただく市町村長の方々の他、自治体職員、地域づくり団体関係者、市民の方々等の一般参加者を募集いたします。

10/14  
<wed>

## ◆ 全体会 13:00～14:30《大展示場》

- 総務省挨拶・施策紹介
- 開催地挨拶
- 来賓挨拶
- 基調講演「地方発・日本再生への道～変革(チェンジ)への挑戦～」  
増田 寛也(東京大学公共政策大学院客員教授・株式会社 野村総合研究所顧問)

## ◆ 分科会 14:50～16:50《多目的ホールなど》

4つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと出席される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。

《医療分科会》《産業振興分科会》

《教育・人材・子育て分科会》《地域づくり分科会(14日のみ)》

## ◆ 人材交流広場 17:00～17:30《大展示場》

一般参加者、市町村長等による意見交換、情報交換の場として人材交流広場を設けます。地域づくり団体関係者、NPO関係者の方々等、地域活性化に携わっている方々の参加をお待ちしております。

## ◆ 交流会 17:30～18:45《大展示場》

人材交流広場に引き続き開催します。立食形式で軽食やドリンクを準備しております。地元観光・特産品PRコーナーも開設します。

10/15  
<thu>

## ◆ 分科会 9:00～11:10《多目的ホールなど》

1日目同様、各分科会のコーディネーターと出席される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。なお、市町村長の方々におかれましては、1日目とは別の分科会に参加し、より多くの分野での意見交換をお願いいたします。

《医療分科会》《産業振興分科会》

《教育・人材・子育て分科会》《地域交通分科会(15日のみ)》

## ◆ 全体会総括 11:30～12:30《大展示場》

2日間の意見交換を踏まえ、総括コーディネーターと分科会コーディネーターがパネルディスカッションを行います。

# 基調講演 「地方発・日本再生への道 ～変革(チェンジ)への挑戦～」



## 増田 寛也

(東京大学公共政策大学院客員教授・株式会社 野村総合研究所顧問)

1951年東京都生まれ。東京大学法学部卒業後、1977年建設省入省、1994年退官。1995年岩手県知事初当選、2007年任期満了退任(3期)。2007年8月総務大臣・内閣府特命担当大臣(地方分権改革)、地方・都市格差是正担当、道州制担当、郵政民営化担当に就任。「定住自立圏構想」の着実な進展を図るとともに、地方自治体・住民等の協働により「地域力」を高める取組に尽力。2008年9月退任。現在、(株)野村総合研究所顧問、内閣官房参与兼内閣官房安心社会実現会議事務局長、東京大学公共政策大学院客員教授。

## 《総括コーディネーター》辻 琢也(一橋大学大学院法学研究科教授)



1994年東京大学大学院博士号取得。専門分野は、行政学、地方自治論。著書は『地方分権推進と自治体職員』(共著)、『分権の自治とデザイン』(共著)ほか。総務省「定住自立圏構想の推進に関する懇談会」委員、国土交通省「国土審議会」専門委員、東京都「地方自治制度に関する研究会」座長、福岡県「行政改革審議会」副会長、川崎市「行財政改革委員会」委員長など、各種委員会・審議会の委員を務める。

人類史上かつてない超高齢社会に移行しつつある現代日本において、自治体には、今まで以上に地域振興が期待される一方で、持続的な地域経営を可能とする行財政改革が求められています。医療、産業振興、教育・人材・子育て、地域づくり、地域交通の各分野の最前線で活躍されている方々の議論を踏まえて、超高齢社会を生き抜く定住自立圏のあり方を、是非、皆さんと一緒に具体的に描いてみたいと思います。

## ① 医療分科会 (14日・15日)

### 梶井 英治(自治医科大学地域医療学センター長)



1978年に自治医科大学を卒業し、鳥取県立中央病院でのローテート研修を経て、地域医療に従事。その後、母校に帰り、血液学、人類遺伝学を学び、1998年地域医療学講座教授、2004年地域医療学センター地域医療学部門教授を経て、2008年から同センター長。定住自立圏構想の推進に関する懇談会委員。現在、総合医の育成、そして地域医療に関わる研究活動に従事しながら、地域医療の充実へ向けて、地域における啓発活動に取り組んでいる。

地域医療の現状をみると、医師の確保や救急医療体制の整備が困難であったり、公立病院をめぐる経営環境が厳しい状況に陥っています。このような現状の中で、「地域医療の確保・充実へ向けてどのように取り組めばよいのか」、全国の事例を踏まえながら明日へとつながる議論を行いたいと思います。

## ② 産業振興分科会 (14日・15日)

### 大西 達也(株式会社 日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ課長)



1966年姫路市生まれ。1989年日本開発銀行(現株式会社 日本政策投資銀行)入行。パリ高等商科大学トレーニー派遣、ロンドン駐在員事務所、九州支店企画調査課、本店首都圏企画室を経て現職。データ分析を通じて地域の課題と可能性を導き出す「地域づくり健康診断」や、まちづくり・観光集客など地域振興に関する講演を通じて地域のキーパーソンを繋ぐネットワークワーカーとして活動している。

公共投資や企業誘致に依存してきた地域の経済が近年の経済危機を経て不透明感を増す一方で、これまで行政や企業の陰に隠れていた住民やNPOなど多様な主体による地域資源を活用した内発型地域振興が注目を集めています。当分科会では、定住自立圏に不可欠とされる雇用創出に向けた新たな産業振興の可能性について検討してみたいと思います。

## ③ 教育・人材・子育て分科会 (14日・15日)

### 田中 里沙(宣伝会議編集室長)



1966年三重県生まれ。学習院大学卒業。広告・広報・ブランドの専門雑誌「宣伝会議」編集長を経て、現在は「広報会議」「環境会議」「人間会議」編集長。コミュニケーションの力で、さまざまな分野、業界を活性化することを目指し、情報発信を行っている。定住自立圏構想の推進に関する懇談会委員。テレビ情報番組コメンテーター、新聞にメディアや広告コラムを執筆。全国広報紙コンクール、各種広告賞の審査員を務める。

私自身、子を持つ母として働きながら、情報を収集・選択し、判断していくのは難しいことですが、今こそ関わる全ての人々が連携して、前進しなければと感じます。社会における問題をとらえ、切り開いていく力は、教育によるところが大きく、地域の中で育まれる力は絶大です。各地の環境、歴史、風土、知性が与える影響の大きさに気づき、活かす流れを、共に見出していきたいです。

## ④ 地域づくり分科会 (14日)



### 小田切 徳美 (明治大学農学部教授)

1959年神奈川県生まれ。東京大学大学院農学研究科博士課程修了(農学博士)。高崎経済大学助教授、東京大学助教授などを経て、2006年より現職。専門は農村政策論、地域ガバナンス論。著書に『実践まちづくり読本』(共著、公職研)、『日本の農業』(編著、農林統計協会)など。定住自立圏構想の推進に関する懇談会委員、過疎問題懇談会委員、国土審議会政策部会特別委員、地域リーダー養成塾主任講師などを兼任。

現代における地域づくりは、新しい地域産業構造の形成と地域コミュニティの構築の2点が重要となります。それを実現するためには、行政の仕組みの革新も重要な要素です。それらを総合化して、地域の新しい価値(地域の誇り)をどのように形成するのか。定住自立圏構想に取り組む全国の皆さんと、真剣に話し合ってみたいと思います。

## ⑤ 地域交通分科会 (15日)



### 森地 茂 (政策研究大学院大学教授・運輸政策研究所所長)

1943年京都市生まれ。東京大学工学部を卒業後、東京工業大学教授、東京大学教授などを経て現職。東京大学名誉教授、東京工業大学名誉教授、工学博士。道路交通を含む交通運輸全般に関する研究活動に従事しつつ、21世紀生活圏研究会会長、国土審議会委員、交通政策審議会委員、社会資本整備審議会委員などの要職を歴任。平成14年交通文化賞国土交通大臣表彰受賞。

地域社会において、高齢化の進展、住民ニーズの高度化、地球環境問題の進展等交通運輸をめぐる環境も大きく変化しております。道路交通を含む交通運輸全般を視野に入れ、交通運輸と密接な関係をもつ地域問題、都市問題、環境問題など広範かつ総合的な課題について討論したいと考えています。

## 参加者募集

全体会・分科会に参加する市町村長と聴講する自治体関係者等を募集しています。参加・聴講を希望される方は、別添「JTБの案内申込書」により聴講を希望する分科会など必要事項を記入のうえ、ファクシミリにてお申し込みください。

人材交流広場・交流会参加費 3,000円

## 会場(くにびきメッセ)への交通アクセス

- ・JR松江駅より徒歩7分
- ・JR松江駅よりバスで3分  
「松江駅・メッセ方面」行き「くにびきメッセ前」下車
- ・山陰道「松江中央ランプ」より車で10分



## 各地域から出雲空港・米子空港・松江駅までの所要時間



## お申込みの流れ

- 参加申込書(別紙)のFAX送信**  
送信先番号 **0852-23-7739**  
申込締切日:平成21年 **7月31日(金)**
- 申込受付済書の発送**  
(8月下旬ごろ予定)  
参加分科会を決定のうえ、文書でお知らせします。
- 人材交流広場・交流会参加費用の振り込み**  
人材交流広場・交流会の参加にあたりお一人様3,000円の参加費用をご負担頂きます。支払い方法は上記②の申込受付済書記載の口座への振込となります(振込費用はご負担ください)。
- 当日来場・受付**  
申込受付済書を持参ください。

〈申込窓口〉

**(株)JTБ中国四国 松江支店**

(担当:吉良・楠)

営業時間:月~金9:30~17:30(土・日・祝日休業)

**FAX (0852) 23-7739**

**TEL (0852) 23-6720**

※(株)JTБ中国四国松江支店は本サミット運営受託業者(株)山広から参加申込窓口業務を請け負っております。申込時の個人情報については、本サミットに係る目的以外での利用は致しません。

# 「定住自立圏」全国市町村長サミット2009 in島根

## 参加申込・宿泊・航空券申込書

ご連絡先	フリガナ 申込み代表者	〒		TEL ( )		(携帯)	
	勤務先	関係書類送付先		FAX		(自宅・勤務先)	
フリガナ 氏名	フリガナ	フリガナ		フリガナ		フリガナ	
	シマネ 島根 太郎	性別	年齢	所属・役職名	性 別	年齢	所属・役職名
例	シマネ 島根 太郎	男	50	〇〇課長	男	50	〇〇課長
1							
2							
3							
4							
5							

※〇印をしてください。  
(自宅・勤務先)

分科会 (10/14)  
第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

分科会 (10/15)  
第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

分科会 (10/14)  
第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

分科会 (10/15)  
第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

分科会 (10/14)  
第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

分科会 (10/15)  
第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

分科会 (10/14)  
第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 第5分科会

※人材交流広場への参加名簿を作成いたします。個人情報等ご都合の悪い方は、名簿掲載欄に×を入れてください。

**アンケートにご協力ください**  
**ご来県の際の交通機関と宿泊施設の利用の有無に○をおつけください。**  
**● 交通機関 ( 航空機・JR・長距離バス・自家用車・公用車 ) ● 宿泊施設の利用 ( 13日・14日・15日・利用しない )**

番号間違いによる個人情報漏洩防止のため、FAX送信後は、下記番号まで着信確認のご連絡をお願い致します。お客様の送付間違いによる漏洩に関し、弊社では責任を負いかねますので、ご了承ください。

↓ J T B 記入欄 ↓	登録番号
受付日	回答日
<p>《個人情報の取扱いについて》 お申込み時にご記入いただきました個人情報は、弊社が運営業務をお手伝い致します本サミットに係る目的以外での利用は致しません。予約の為の関係施設への情報提供につきましてはご了承ください。</p>	
<p>〈申込窓口〉(株)JTB中国四国 松江支店 (担当:吉良・楠)  <b>FAX (0852) 23-7739 TEL (0852) 23-6720</b></p> <p>※(株)JTB中国四国松江支店は本サミット運営受託業者(株)山広から参加申込窓口業務を請け負っております。申込時の個人情報については、本サミットに係る目的以外の利用は致しません。</p>	
<p>営業時間:月～金9:30～17:30 (土・日・祝日休業)</p>	